

保育実習指導者研修 モデルカリキュラム

■趣旨及び目的

本研修は、指定保育士養成施設（以下、養成校という）と保育所等の実習施設（以下、実習施設という）の実習指導者を対象に、実習指導の質向上を図ることを目的とします。

「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」（厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知、平成30年4月27日改正）において定められている「保育実習実施基準」では、保育実習の目的を「保育実習は、その習得した教科全体の知識、技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、児童に対する理解を通じて保育の理論と実践の関係について習熟させることを目的とする。」としています。加えて、保育実習の目的を達成するためには、養成校においては、主たる実習指導者が他の教員・実習施設の主たる実習指導者等と緊密に連携すること、実習施設においては、主たる実習指導者が実習施設内の他の保育士等とも緊密に連携することも明記されています。

養成校と実習施設において、また、養成校と実習施設とが連携・協働して実習指導を行うためには、「保育所保育指針」（厚生労働省、平成29年）に基づき、養成校と実習施設で実施される保育実習に対する共通理解をもつことが重要です。かつ、多様な背景をもつ実習指導者が各々の専門性を発揮した実習指導が行われることで、より、効果的な実習指導がなされることが期待できます。そのためには、保育実習の目的を達成するために過度な負担を強いるのではなく、効果的で効率的な実習指導のあり方を学び、実習指導の計画や実践に反映することも実習指導者には求められています。

本研修プログラムは、実習指導の質向上を図るために、実習指導者として習得しておく必要のある基礎知識と基本的な指導方法について、養成校と実習施設の実習指導者が合同で学んだ後、養成校と実習施設それぞれの実習指導に特徴的な内容を学びます。その上で、実習施設と養成校とが連携・協働して行う実習指導に向けた課題解決を提案し、明日からの実習指導に活かしていくことを目指しています。

■研修プログラム

【第1日目】※途中、休憩時間を適宜設定する

方法・時間	研修科目	内容	目標
講義① 60分	保育実習指導概論 [共通]	○保育士資格とは ○保育所保育指針 ○保育実習実施基準 ○保育士養成倫理綱領 ○実習生への合理的配慮	① 実習指導者として、保育士資格の専門性について理解する。 ② 保育所保育指針に基づいて、保育実習Ⅰ（保育所・施設）から保育実習Ⅱ・Ⅲの学びの流れを理解する。
講義② 90分	保育実習指導の基本 [共通]	○学びの主体である実習生の理解 ○事前事後指導と訪問指導 ○保育実習Ⅰ（保育所・施設）と他の教科科目との関連 ○保育実習Ⅱ・Ⅲと他の教科科目との関連	① 実習生理解に基づく指導を行う。 ② 子ども理解に基づく指導/支援を促す。 ③ 保育実習と他の教科科目の学修内容との関連を理解し、実習指導を行う。
講義③ 90分	保育実習指導の方法と評価 [共通]	○生活と遊びを通じた発達の援助/支援 ○実習記録と指導/支援計画に関する指導 ○評価とは ○効果的・効率的な実習指導の方法	① 生活と遊びを通じた発達の援助・支援等に関する理解を促す。 ② 生活と遊びを通じた指導等の実践を促す。 ③ ①②を踏まえた実習日誌及び指導計画等の作成に関する指導を行う。 ④ 事前事後指導・訪問指導を通して、実習生の学びを確認し、自身の課題に取り組む援助を行う。 ⑤ 実習指導の評価について理解し、適切な評価を行う。 ⑥ ICTを活用し、効果的かつ効率的な実習指導を行う。
演習① 120分	保育実習指導の現状と課題（討議） [保育士/養成校教員]	[テーマ1] 効果的で効率的に実習指導を進めるための実習指導体制のあり方に関する課題抽出 [テーマ2] 効果的で効率的な実習記録・指導/支援計画作成のあり方に関する課題抽出 [テーマ3] 保育の魅力を感じられる実習になるための実習指導のあり方に関する課題抽出	① 実習受け入れ機関/養成校が、実習の意義を受け止め、実習指導体制を組織的に作り上げるための課題を見出す。 ② 実習生の自己覚知を支え、実習生が実習記録・指導/支援計画を自ら改善できるようになる訪問指導・事前事後指導について、省察する。

【第2日目】※途中、休憩時間を適宜設定する

方法・時間	研修科目	内容	目標
講義④ 60分	保育実習 マネジメント [保育士/養成校教員]	○実習マネジメント ・実習要項の共有 ・実習生への合理的配慮 ・個人情報の保護 ・実習に伴うリスクと予防	① 実習目標の達成のために行う指導過程において、効果的かつ効率的に実習を進めるための管理・調整・事務手続きなどを行う。 ② 実習に伴うリスクについて理解する。
講義⑤ 60分	保育実習指導の 計画の策定 [保育士/養成校教員]	○実習指導の計画の作成 ・実習の達成目標の設定 ・実習内容 ・実習方法 ・指導上の留意点	① 保育実習実施基準に基づき、実習指導の計画を作成する。 ② 実習生理解に基づき、実習指導の計画を作成する。
講義⑥ 60分	保育実習指導 における 連携・協働の方法 [保育士/養成校教員]	○実習施設内/養成校内における連携・協働 ○保育実習指導のPDCAサイクル ・保育実習指導に関する省察（事前指導・オリエンテーション/訪問指導・実習中の指導/事後指導・実習後の振り返り） ・評価を踏まえた保育実習指導の計画の改善 ○実習を通じた職業能力育成	① 実習生が自身の保育について省察することを促す。 ② 実習指導の評価を踏まえて、実習指導方法を改善する。 ③ 実習後にも継続して保育者として成長したいと思う職業能力育成を行う。
演習② 120分	保育実習指導に おける課題解決： 実習施設と養成校 との連携・協働 （討議） [共通]	[テーマ1] 効果的で効率的に実習指導を進めるための実習指導体制のあり方に関する提案 [テーマ2] 効果的で効率的な実習記録・指導/支援計画作成のあり方に関する提案 [テーマ3] 保育の魅力を感じられる実習になるための実習指導のあり方に関する提案	① 実習受け入れ機関/養成校が、実習の意義を受け止め、実習指導体制を組織的に作り上げる。 ② 実習生の自己覚知を支援、実習生が実習記録・指導/支援計画を自ら改善できるようになる訪問指導・事前事後指導を行う。

■日程 2日間にわたり実施する(計11時間)

■受講対象者

- ① 養成校(指定保育士養成施設)で実習指導に携わる教員
- ② 実習施設(保育所等の実習施設)で実習指導を担当する保育士

■実施方法

受講認定のため、原則として対面講習。ただし、地域等の状況に応じてオンライン実施も可とする。その際、受講確認は確実にを行うこと。

一般社団法人全国保育士養成協議会

令和5年度子ども・子育て支援推進調査研究事業(こども家庭庁)「指定保育士養成施設及び実習先保育所の実習指導担当者に対する効果的な研修の在り方に関する調査研究」

発行 令和6年3月31日

編集担当 伊藤理絵(常葉大学)

木戸啓子(倉敷市立短期大学)

高橋貴志(白百合女子大学)